



首都圏  
自然歩道

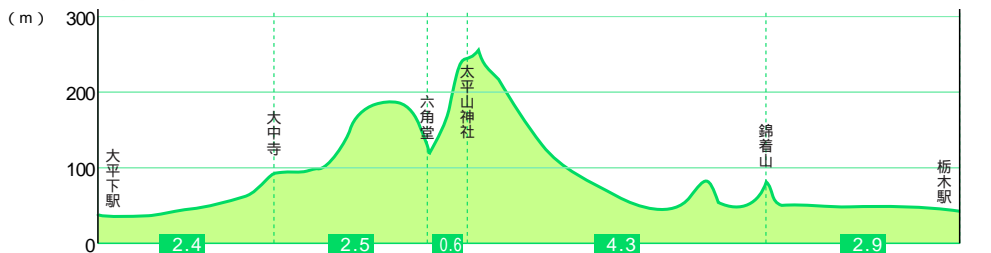
# 関東ふれあいの道

栃木県

## 11 桜咲くパノラマのみち 12.7km

大平下駅を出発し、ブドウ畑の中を進むと「雨月物語」や「七不思議」で有名な大中寺に着きます。舗装された歩道を東に進み、ゆるやかな坂道を登りきると、「陸の松島」と言われるすばらしい眺望の太平山謙信平に着きます。ここから一度六角堂まで下り、歩道の両側にアジサイの茂る長い石段を登りきると太平山神社です。桜並木の道を下ると郊外の住宅地に出ます。永野川を渡ると全山ツツジにおおわれた錦着山公園に至り、さらに市街地を進むと栃木駅に到着します。

### ルート標高



### 踏破認定撮影ポイント



### 錦着山(慰霊塔)

巾着の形に似ているからとも、また春には全山のツツジが満開となり、錦の着物を着ているように見えるところから名付けられたともいわれています。

山上にある護国神社は初代県令鍋島貞幹（なべしまていかん）が、明治 12年（1879）に建立したものです。

### 問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当  
栃木県県南環境森林事務所 環境企画課  
栃木市役所 道路管理課  
大平町役場 産業振興課

〒320-8501 宇都宮市堀田 1-1-20 TEL.028-623-3206  
〒327-8503 佐野市堀米町 607 TEL.0283-23-1441  
〒328-8686 栃木市入舟町 7-26 TEL.0282-21-2558  
〒329-4492 下都賀郡大平町大字富田 558 TEL.0282-43-9212

### コース周辺の見所



太平山神社

天長 4年（827）慈覚大師により創建されたといわれています。武将、諸人の崇敬が高く、特に徳川 3代将軍家光以来代々当社を崇敬しました。

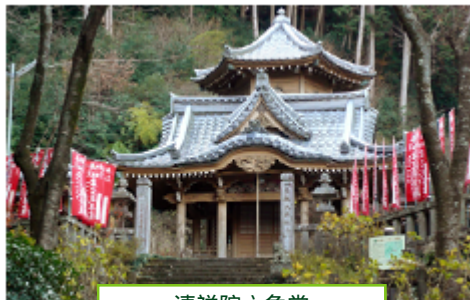
神社拝殿の傍らに皇宮神社があり建物が仏堂で、神仏混淆の名残となっています。神仏分離令以前は虚空蔵菩薩を祀っていました。



随神門(ずいじんもん)

享保 8年（1723）徳川 8代将軍吉宗時代の建築です。表に左・右大臣、後ろに仁王の守護神を配したもので、太平山が寺院の山として栄えていた頃の名残です。

建て方は入母屋造りで、俗にからかさ天井といわれています。



連祥院六角堂

当院は、連祥院と称していますが、六角堂の名で知られ、太平山の中段、表参道の登り口にあります。

慈覚大師が太平山創建の際、その本地仏として山城国、国宝寺にあった虚空菩薩を移したもので、作は聖徳太子とされています。



謙信平からの眺望

戦国時代、越後の上杉謙信が太平山に登った際、大平山上から南の関東平野を見渡し、あまりの広さに目を見張ったという故事から、謙信平の地名が生まれたと言われていました。

地上が霧になると、霧の上から付近の山々が島のように見えることから「陸の松島」とも言われています。



大中寺

延徳元年（1489）に開創された歴史ある寺で、この寺の縁起は「雨月物語」の青頭巾などとして名高く、境内にある七不思議伝説も有名です。



ぶどう団地

グレーブロードを中心に、広大なブドウ畑が広がります。巨峰を中心に 8月上旬から 10月中旬までぶどうの香りがいっぱいです。